

選定委員会では、3か所の候補地について2次評価を行い、以下のとおりの総合評価となった。(2次評価比較表について別紙3を参照)

評価結果

	評価点 (100点満点中)	A評価の数	B評価の数	C評価の数
上野原地区①	54	6	5	9
上野原地区②	74	8	11	1
上野原地区③	66	9	5	6

『上野原地区①』

県道水沢足門線から200m以上西側で、榛東村長岡浄水場の北側に位置する地区。候補地面積は9.84ha。集落からかなり離れているため生活環境への影響は少ない。地区内の上部には林道湯出入線が存在しているが、急傾斜地の山林が対象地であることから運搬道路の改修規模や造成規模が大きい。また災害発生の危険性が比較的高いと思われるほか、近隣市町村への影響等の項目で点数が低くなり、3か所の候補地の中では最も低い総合評価となった。

『上野原地区②』

県道水沢足門線の東側で、吉岡町道201号線から200m以上北側に位置する地区。候補地面積は38.47ha。対象地は西から東へ傾斜している山林が大部分を占め、地区内には舗装されていない林道が存在する。農業用水管等の地下埋設物や近隣市町村への影響がなく、周辺整備の可能性が高い等の理由により、全体にわたって比較的高い点数となり、3か所の候補地の中では最も高い総合評価となった。

なお、一部の区域では県のレッドデータリストに掲載された植物の発見報告がされていることから、十分な対応が必要と考える。

また、比較評価のなかには候補地外周からの距離等が項目となっているものもあるが、当該地区は3か所の候補地の中で面積が最も広く、今後検討される選定場所によっては評価についての見解が変わることがあることを申し添える。

『上野原地区③』

県道水沢足門線の東側で、吉岡町道201号線から200m以上南側に位置する地区。候補地面積は3.16ha。対象地は西から東へ傾斜している農地であり、造成規模や雨水排水路整備規模が小さく、また樹木の伐採の必要がないことや災害発生の危険性が低いと思われること等によりこれらの項目の点数が高い。ただ、集落から比較的離れているとはいえ、候補地周辺には農道等生活に必要な道路もあることから、搬入ルート上の支障や景観等への影響、近隣市町村への影響といった項目が比較的低い点数となり、3か所の候補地の中では上野原地区②に次ぐ2番目の総合評価となった。

なお、当該地区の対象面積は、1次評価及び中間報告の際には3.60haであったが、2次評価で現地調査を含めて確認したところ、100m以内の榛東村地内に住居があることが確認されたため、影響範囲となる0.44ha分を除外し「3.16ha」とすることを選定委員会で了承している。